

調査結果の概要

1 身長・体重・座高の県平均値

(前年度比較、全国比較、男女比較)

平成20年度の小学校、中学校、高等学校及び幼稚園における児童、生徒及び幼児の身長・体重・座高については次のとおりである。

(1) 身長

男子の身長は、6歳(117.0 cm)、9歳(133.6 cm)、17歳(170.7 cm)の各年齢で前年度より0.2～0.6 cm伸びており、10歳(138.7 cm)及び11歳(144.8 cm)は前年度と同じである。

(表1、参考資料1)

全国平均値と比べると、6歳で0.3 cm、7歳で0.2 cm上回っている。

17歳は、全国平均と同じである。

(表4)

その他の年齢では、0.1～0.9 cm下回っている。

女子の身長は、8歳(128.2 cm)、11歳(147.4 cm)の各年齢で、前年度より0.8～1.1 cm伸びており、6歳(115.8 cm)、7歳(121.6 cm)、13歳(155.2 cm)、14歳(156.3 cm)及び15歳(156.9 cm)は前年度と同じである。

(表1、参考資料2)

全国平均値と比べると、8歳で0.7 cm、11歳で0.6 cm、5歳及び13歳で0.1 cm上回っている。

6歳、7歳及び13歳は全国平均値と同じである。

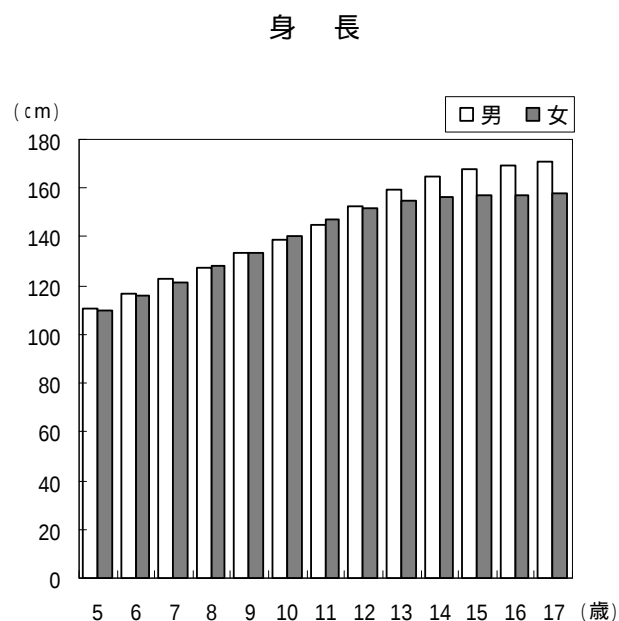
その他の年齢では、0.1～0.7 cm下回っている。

(表4)

また、11歳では2.6 cm、10歳では1.4 cm、8歳では0.6 cm、女子の身長が男子の身長を上回っている。

(表5、図1)

図1 年齢別身長、体重及び座高



(2) 体重

(図1・体重)

男子の体重は、6歳(21.9 kg)、9歳(31.4 kg)、10歳(34.4 kg)、11歳(39.0 kg)、12歳(43.9 kg)、17歳(63.5 kg)の各年齢で、前年度より0.2～1.2 kg増えており、7歳は前年度と同じである。

(表2、参考資料3)

全国平均値と比べると、9歳で0.6 kg、6歳及び7歳で0.4 kg、11歳で0.2 kg、10歳、13歳及び17歳で0.1 kg上回っており、8歳は全国平均値と同じである。

その他の年齢では、0.1～1.4 kg下回っている。

(表4)

女子の体重は、5歳(18.8 kg)、6歳(21.4 kg)、7歳(24.0 kg)、8歳(27.5 kg)、9歳(30.4 kg)、11歳(39.6 kg)、12歳(44.5 kg)、13歳(48.1 kg)、14歳(50.1 kg)の各年齢で、前年度より0.1～0.7 kg増えており、特に8歳では0.7 kg増えて過去最高となっている。

(表2、参考資料4)

全国平均値と比べると、8歳で0.9 kg、6歳、7歳及び13歳で0.4 kg、9歳、11歳及び12歳で0.3 kg、5歳で0.2 kg、10歳で0.1 kg上回っている。

(表4)

その他の年齢では、0.1～1.3 kg下回っている。

また、11歳及び12歳では0.6 kg、8歳では0.2 kg、10歳では0.1 kg女子の体重が男子の体重を上回っている。

(表5、図1)

(3) 座高

男子の座高は、6歳(65.2 cm)、7歳(68.1 cm)、9歳(73.0 cm)、10歳(75.1 cm)、17歳(92.0 cm)で前年度より0.1～0.6 cm伸びており、特に17歳では過去最高となっている。

(表3、参考資料5)

全国平均値と比べると、7歳で0.4 cm、17歳で0.3 cm、6歳及び9歳で0.2 cm、5歳と10歳で0.1 cm上回っている。

その他の年齢では、0.1～0.7 cm下回っている。

(表4)

女子の座高は、5歳(62.0 cm)、6歳(64.6 cm)、7歳(67.6 cm)、8歳(70.6 cm)、9歳(72.9 cm)、11歳(79.7 cm)で前年度より0.1～0.7 cm伸びており、特に8歳では0.7 cm伸びて過去最高となっている。

(表3、参考資料6)

全国平均値と比べると、8歳で0.6 cm、5歳及び11歳で0.4 cm、7歳で0.3 cm、9歳で0.1 cm上回っている。

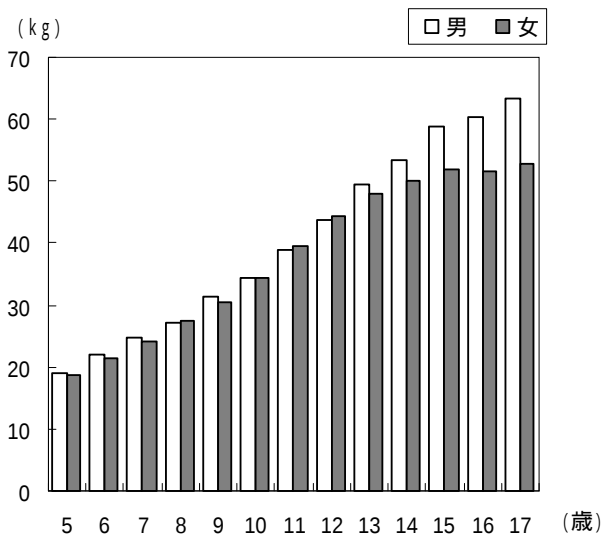
6歳は全国平均値と同じで、その他の年齢では0.1～0.4 cm下回っている。

(表4)

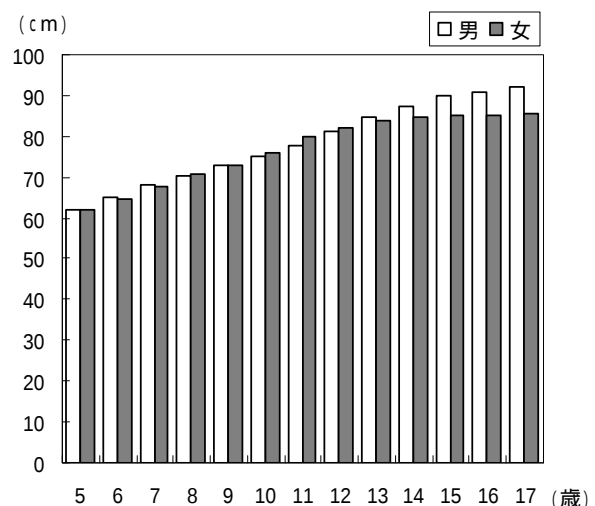
また、11歳では2.0 cm、12歳では0.9 cm、10歳では0.8 cm、8歳では0.4 cm女子の座高が男子の座高を上回っている。

(表5、図1)

体 重



座 高



2 県平均値における 1 年間の発育量

身長・体重・座高の県平均値について、各年齢時の 1 年間の発育量を見てみると、次のとおりである。
(表 6、図 2)

(1) 身長

男子では、11 歳時が最も大きく (7.4 cm)、15 歳時が最も小さい (0.8 cm)、

女子では、10 歳時が最も大きく (7.0 cm)、16 歳時が最も小さい (▲0.1 cm)。

(2) 体重

男子では、12 歳時が最も大きく (5.9 kg)、15 歳時が最も小さい (1.3 kg)、

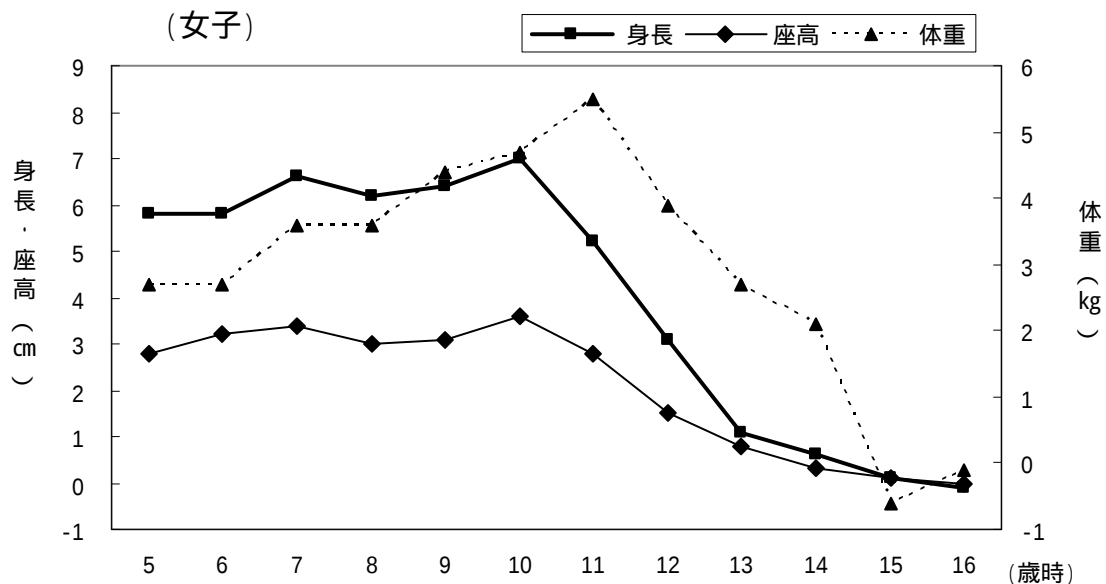
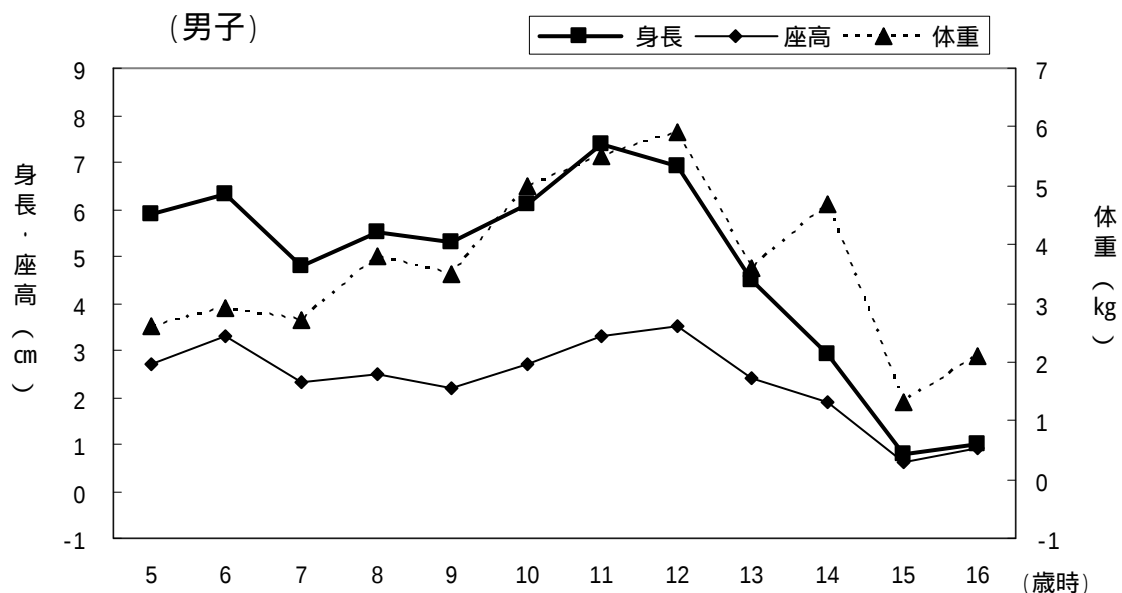
女子では、11 歳時が最も大きく (5.5 kg)、15 歳時が最も小さい (▲0.6 kg)。

(3) 座高

男子では、12 歳時が最も大きく (3.5 cm)、16 歳時が最も小さい (0.6 cm)、

女子では、10 歳時が最も大きく (3.6 cm)、16 歳時が最も小さい (0.0 cm)。

図 2 県平均値における 1 年間の発育量



3 県平均値における親世代（昭和53年度）との比較

身長・体重・座高の県平均値について、その親の世代である30年前の昭和53年度と比較してみると、男女とも各年齢において上回っている。（表7、図3、4、5）

（1）身長

男子の身長を比べると、最も差がある年齢は11歳及び12歳で、親の世代より3.6cm高い。
女子の身長を比べると、最も差がある年齢は11歳で、親の世代より2.8cm高い。

（2）体重

男子の体重を比べると、最も差がある年齢は11歳で、親の世代より4.8kg重く、親の世代の12歳にほぼ相当する。
女子の体重を比べると、最も差がある年齢は12歳で、親の世代より2.6kg重い。

（3）座高

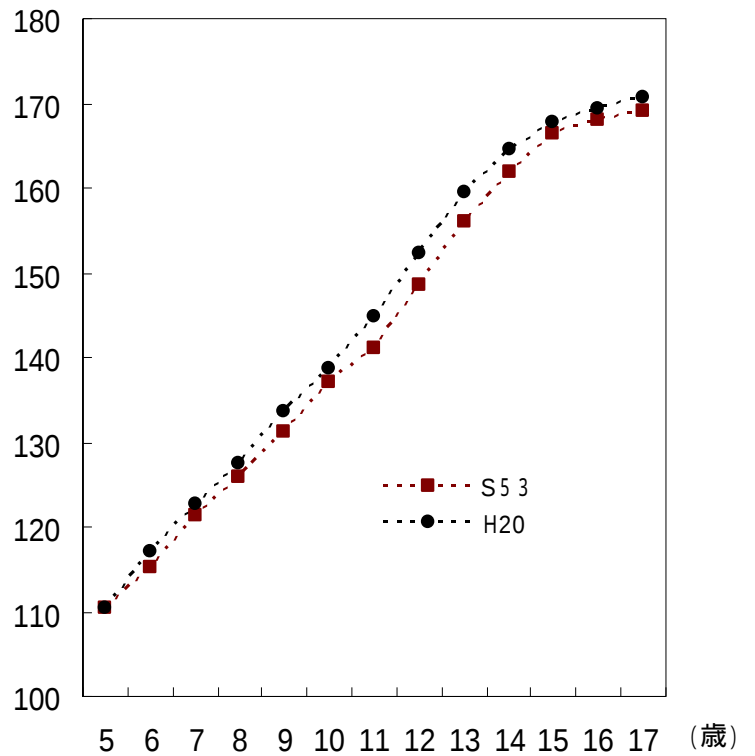
男子の座高を比べると、最も差がある年齢は11歳で、親の世代より2.1cm高い。
女子の座高を比べると、最も差がある年齢は11歳で、親の世代より1.9cm高い。

なお、身長から座高を引いた足の長さ（下肢長）について比べると、男子でもっとも差がある年齢は12歳及び13歳で1.6cm、女子は13歳で1.4cm親の世代より長い。

図3 県平均値における親世代との比較（身長）

身長 (cm) (男)		
	昭和53年度	平成20年度
5歳	110.5	110.5
6歳	115.3	117.0
7歳	121.2	122.7
8歳	125.8	127.6
9歳	131.1	133.6
10歳	137.2	138.7
11歳	141.2	144.8
12歳	148.6	152.2
13歳	156.1	159.4
14歳	161.8	164.5
15歳	166.3	167.7
16歳	168.1	169.3
17歳	169.0	170.7

(cm) 親世代との比較(身長) (男)



身長 (cm) (女)		
	昭和53年度	平成20年度
5歳	109.7	109.9
6歳	114.7	115.8
7歳	120.0	121.6
8歳	126.5	128.2
9歳	131.8	133.3
10歳	137.5	140.1
11歳	144.6	147.4
12歳	150.1	151.8
13歳	153.3	155.2
14歳	155.1	156.3
15歳	155.3	156.9
16歳	156.2	157.0
17歳	155.7	157.8

(cm) 親世代との比較(身長) (女)

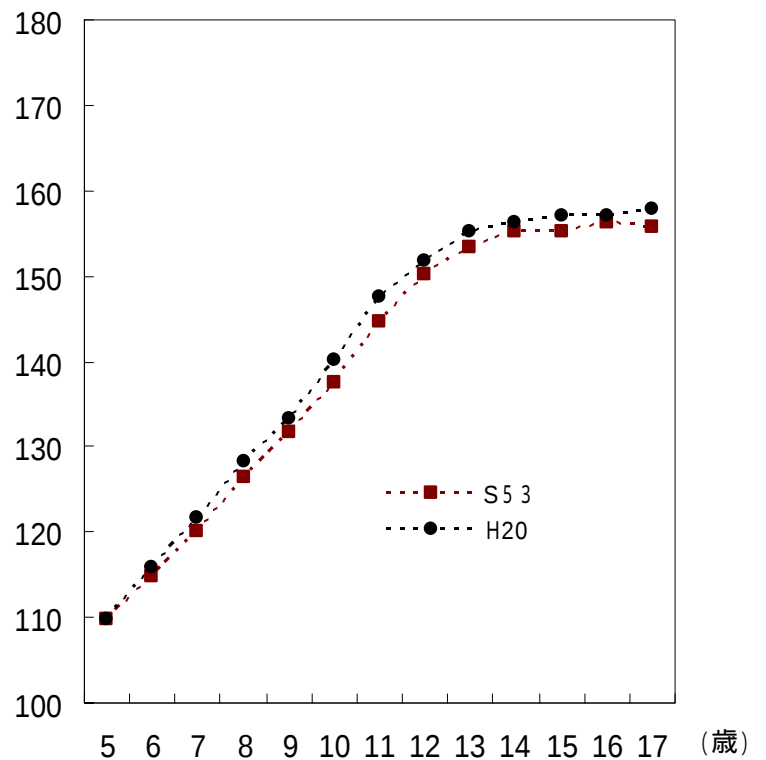
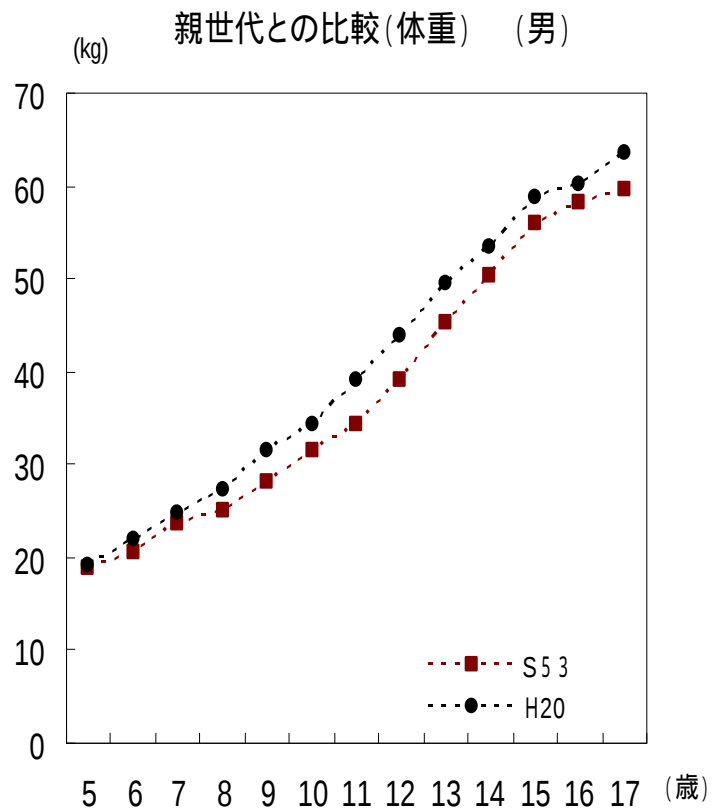


図4 県平均値における親世代との比較（体重）

体 重 (kg) (男)		
	昭和53年度	平成20年度
5歳	18.9	19.0
6歳	20.5	21.9
7歳	23.6	24.6
8歳	25.1	27.3
9歳	28.2	31.4
10歳	31.6	34.4
11歳	34.2	39.0
12歳	39.2	43.9
13歳	45.2	49.6
14歳	50.3	53.5
15歳	56.0	58.7
16歳	58.2	60.2
17歳	59.7	63.5



体 重 (kg) (女)		
	昭和53年度	平成20年度
5歳	18.1	18.8
6歳	20.2	21.4
7歳	22.2	24.0
8歳	25.6	27.5
9歳	28.8	30.4
10歳	32.0	34.5
11歳	37.4	39.6
12歳	41.9	44.5
13歳	45.9	48.1
14歳	49.0	50.1
15歳	50.2	51.9
16歳	52.3	51.7
17歳	52.1	52.8

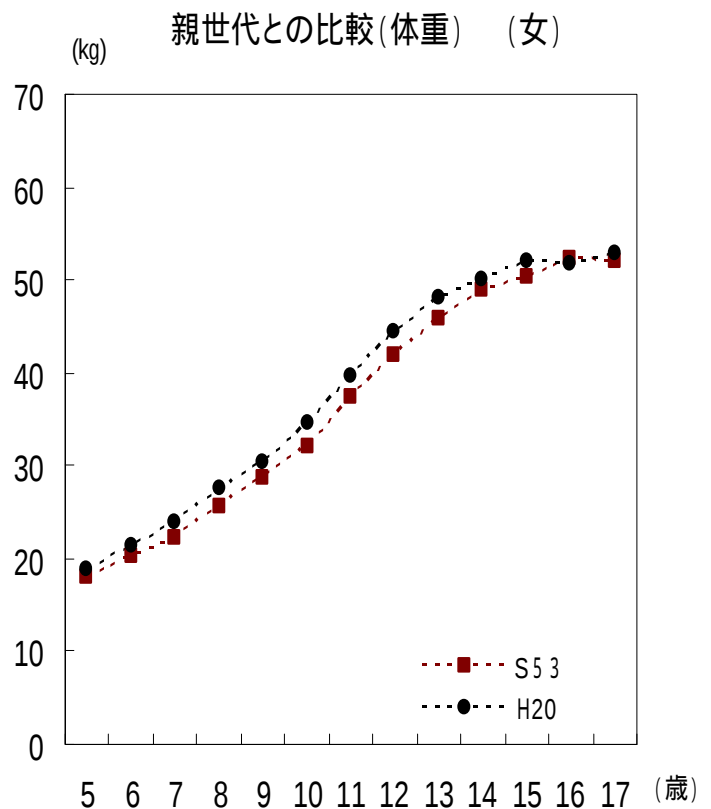
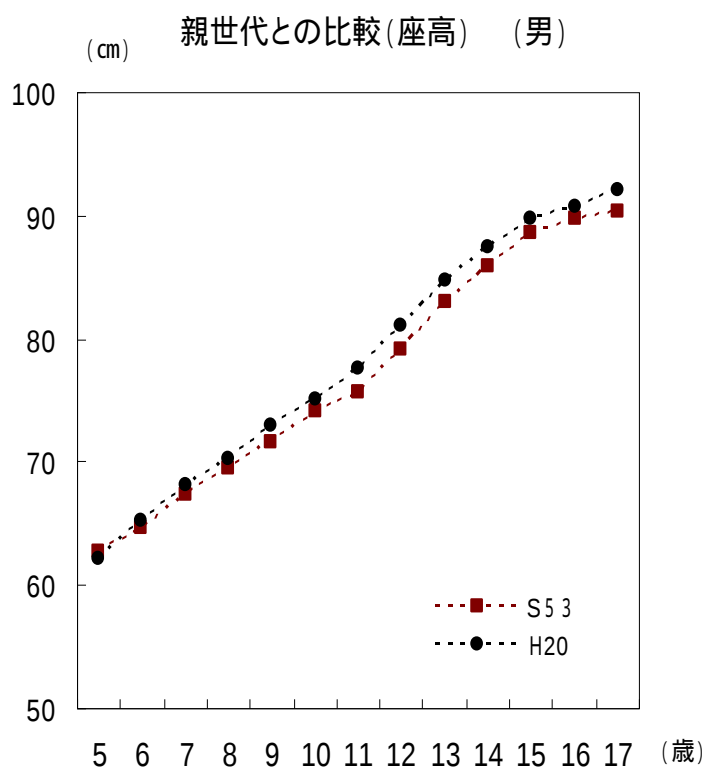
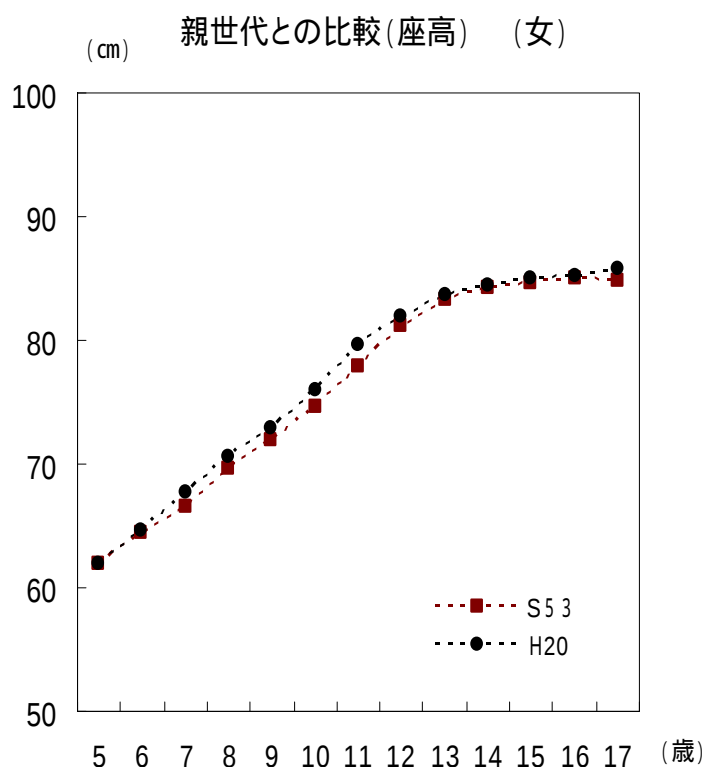


図5 県平均値における親世代との比較（座高）

座 高 (cm) (男)		
	昭和53年度	平成20年度
5 歳	62.8	62.2
6 歳	64.7	65.2
7 歳	67.4	68.1
8 歳	69.5	70.2
9 歳	71.6	73.0
10 歳	74.1	75.1
11 歳	75.6	77.7
12 歳	79.1	81.1
13 歳	83.1	84.8
14 歳	85.9	87.5
15 歳	88.6	89.8
16 歳	89.7	90.7
17 歳	90.4	92.0



座 高 (cm) (女)		
	昭和53年度	平成20年度
5 歳	62.0	62.0
6 歳	64.5	64.6
7 歳	66.6	67.6
8 歳	69.6	70.6
9 歳	72.0	72.9
10 歳	74.6	75.9
11 歳	77.8	79.7
12 歳	81.2	82.0
13 歳	83.2	83.7
14 歳	84.2	84.5
15 歳	84.6	85.0
16 歳	85.0	85.2
17 歳	84.9	85.7



4 肥満傾向児の出現率

肥満傾向児

標準体重を上回った子どもの割合を示す「肥満傾向児出現率」の全国平均値との比較を見てみると次のとおりである。

男子は、6歳～11歳、13歳及び17歳において0.5～4.5%全国平均値の出現率を上回っており、その他の年齢では0.3～3.4%下回っている。

女子は、6歳～10歳、12歳～14歳において0.3～2.8%全国平均値の出現率を上回っており、その他の年齢では全国平均値を0.3～2.5%下回っている。

県内において、肥満傾向児の出現率が10%を超えているのは、9歳～13歳、17歳で、男子では、17歳の15.7%が最も高く、女子では9歳の10.7%が最も高くなっている。

(表8、図6)

図6 全国平均値との比較による肥満傾向児出現率

